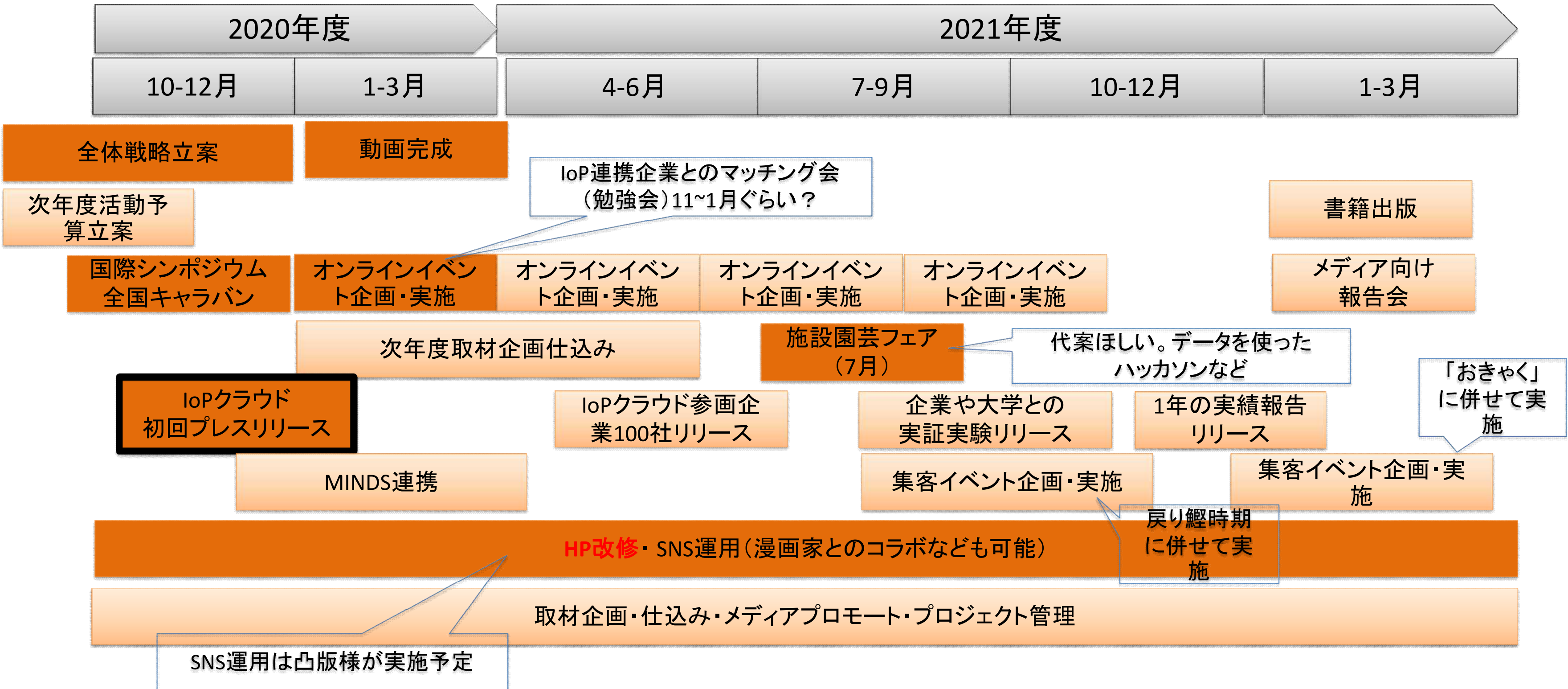


ビジネスチームからのご報告

- ・今後の広報施策・初回プレスリリース案
- ・IoP推進プロジェクトチームの取り組み状況
- ・指導員（JA・県）向けのサワチ機能の開発構想

今後の広報施策

今期スケジュールの確認(実施済み・実施確定のものは**オレンジ**に色分け)



初回プレスリリース案

【目的】

関連企業/組織に、施設園芸さらには第一次産業におけるデータ連携基盤として、一番実践的に進んでいるものだと認知してもらう

➡競合プラットフォームよりも、先駆けてまた有利に仲間集めをする

【目的達成のための手段】

- ・競合プラットフォームに先駆けて、取り組みが実践的に進んでいる状況を伝えられるリリースを出す
- ・他の大型イベントと連動して出す

【効果】

IoPコンソーシアムに入り、IoPクラウドとのデータ連携や商品開発をしたい等、企業からの引き合いが発生する

【文面】

次ページ以降

ビジネスチームからのご報告

- ・今後の広報施策・初回プレスリリース案
- ・IoP推進プロジェクトチームの取り組み状況
- ・指導員(JA・県)向けのサワチ機能の開発構想



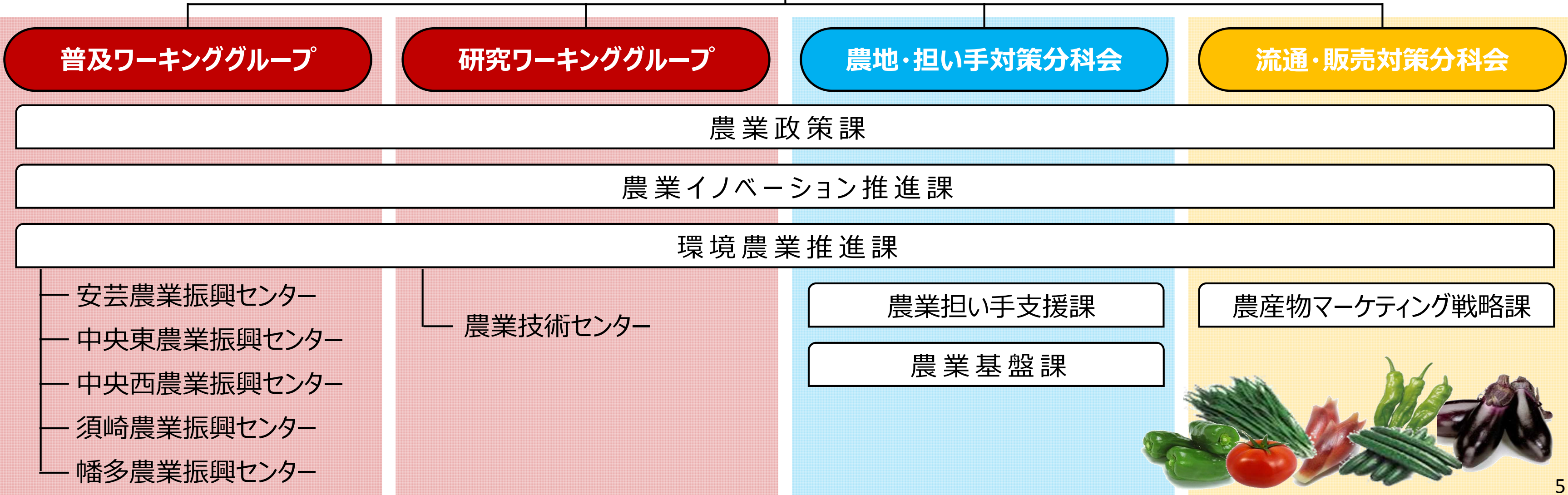
1. 今、農業振興部では、全力で『IoP』を普及する体制を固めています！

野菜産出額に関するKPI 【H29】 621億円 → 【R9】 751億円 (130億円増)

KPIを着実に達成していくためには、反収増の取組だけではなく、面積拡大や単価アップの取組も必要

$$\boxed{\text{農業所得}} = \boxed{\text{反収}} \times \boxed{\text{面積}} \times \boxed{\text{単価}} - \boxed{\text{経費}}$$

農業振興部IoPプロジェクト推進チーム





2. 今、農業振興部では、全力で『IoP』を普及する体制を固めています！

野菜産出額に関するKPI 【H29】 621億円 → 【R9】 751億円 (130億円増)

KPIを着実に達成していくためには、反収増の取組だけではなく、面積拡大や単価アップの取組も必要

$$\text{農業所得} = \text{反収} \times \text{面積} \times \text{単価} - \text{経費}$$

農業振興部IoPプロジェクト推進チーム

普及ワーキンググループ

データ
駆動型の
普及指導
体制へ

研究ワーキンググループ

データ
駆動型の
研究
体制へ

農地・担い手対策分科会

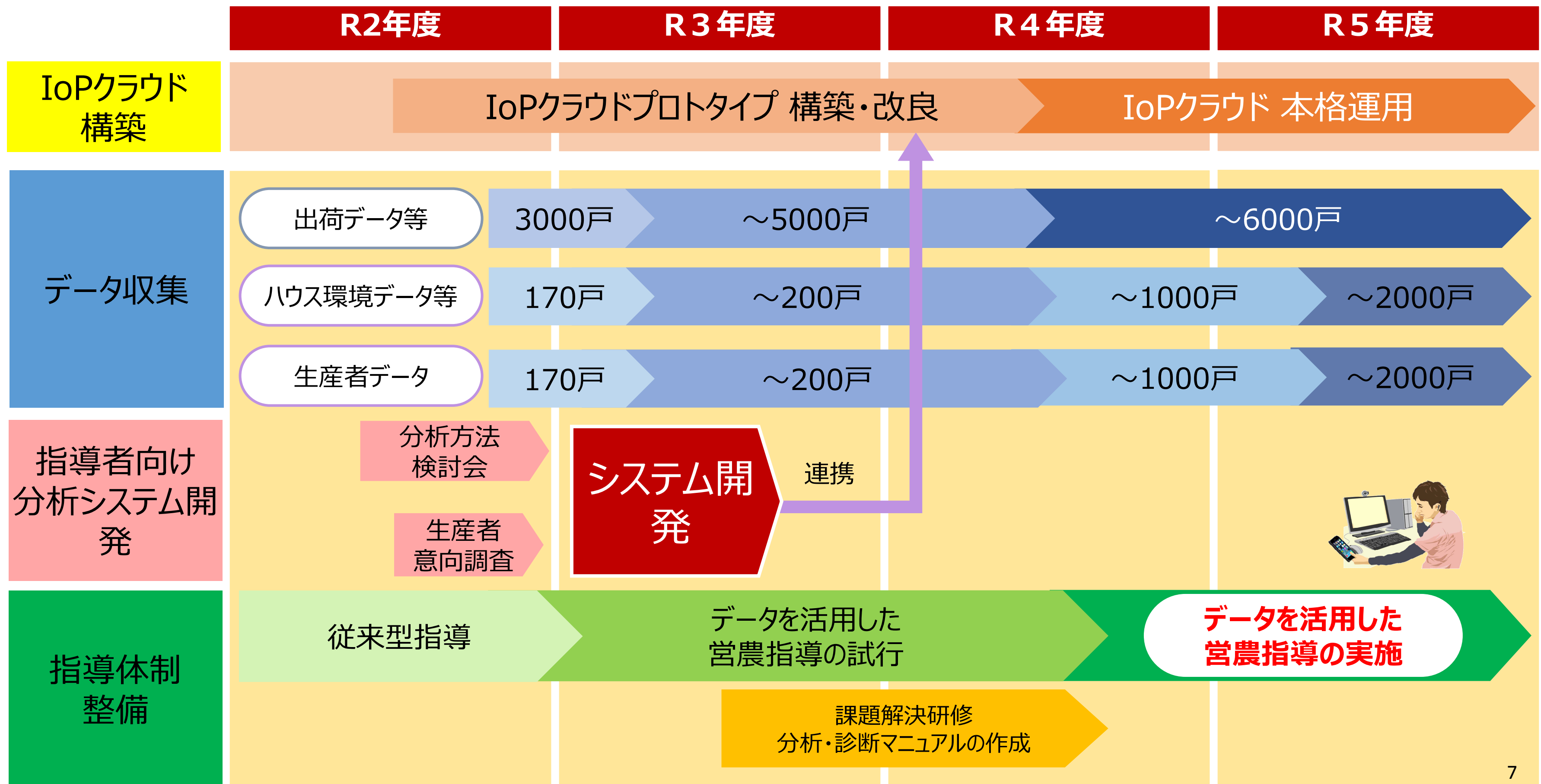
- 政策課
- シヨン推進課
- 業推進課
- 農業担い手支援課
- 農業基盤課

流通・販売対策分科会

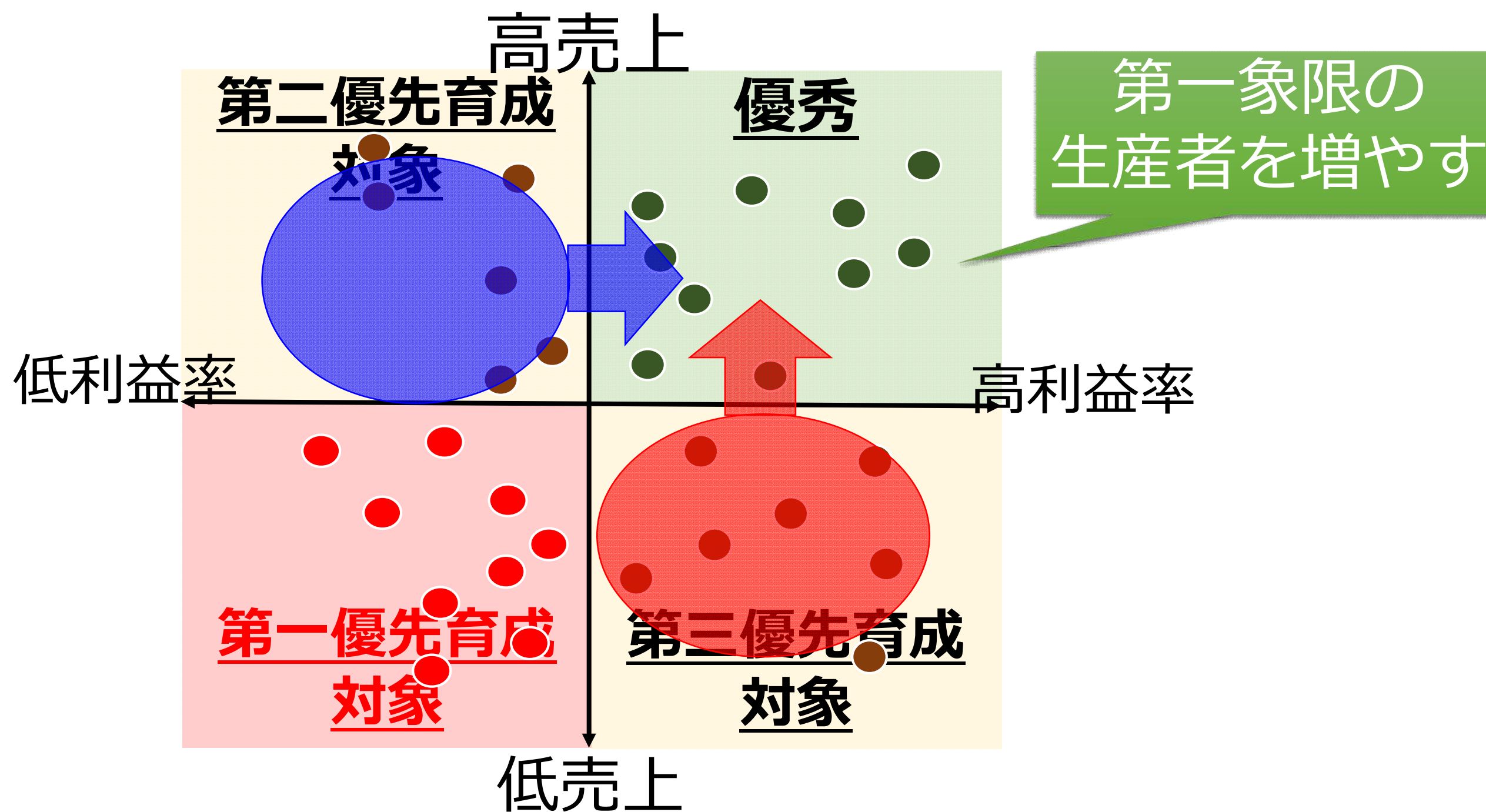
データ
駆動型の
流通販売
体制へ



3. 営農指導へのIoPクラウドデータの活用について

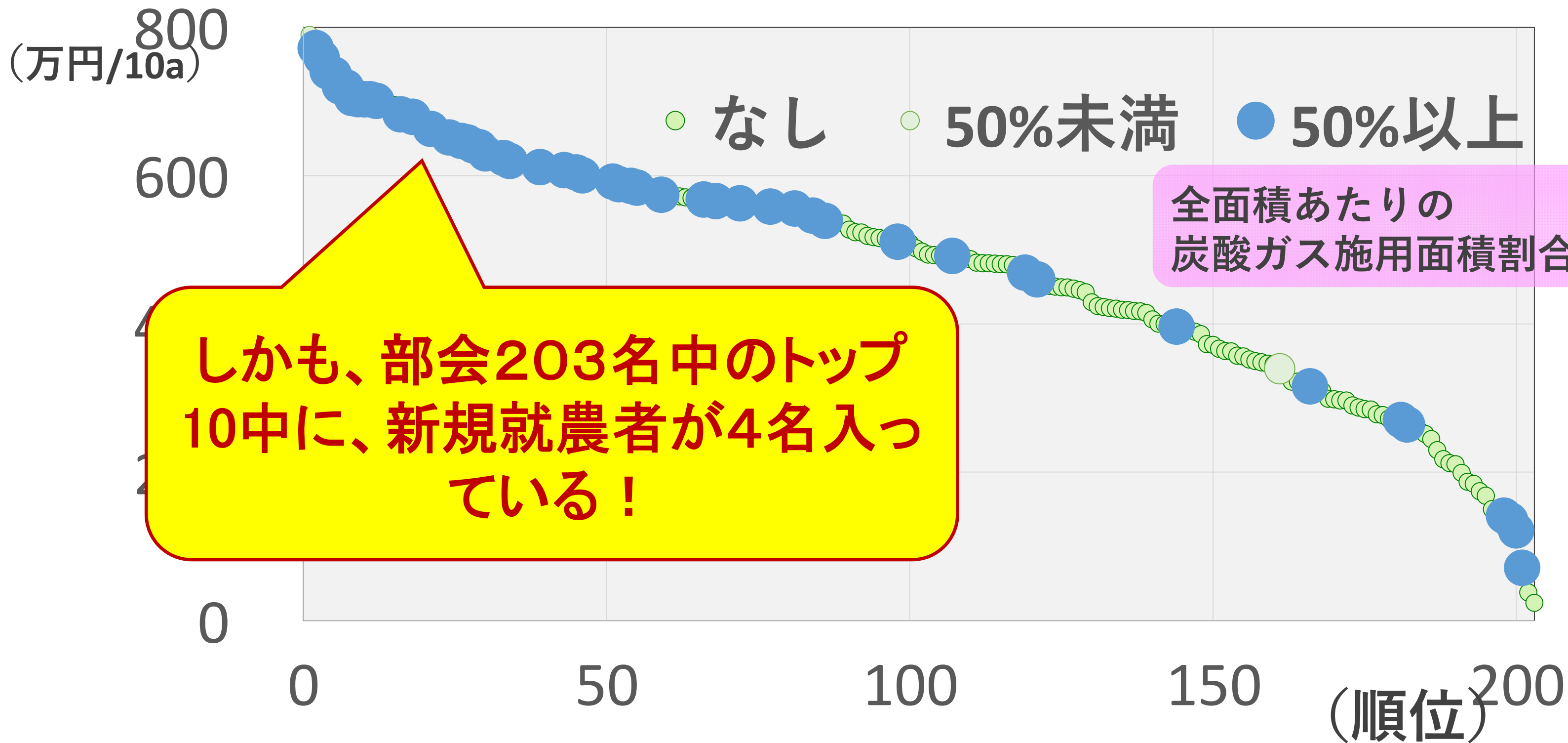


■ 生産者の4象限マトリックス（例：売上×利益率）



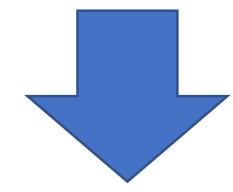
まず、産地全体(全戸)の簡易営農・経営診断をして、それぞれの生産者に必要な指導(経営面?技術面?)を明確化し、データに基づく指導をする体制に

R2 6月末までの炭酸ガス施用効果（金額）

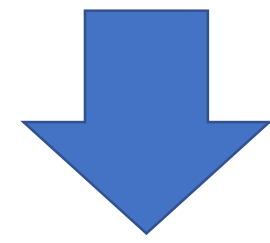




10人への普及



100人への普及



1000人への普及



6000人への普及

研究と実証

+

営農指導

+

- ・もっと多くの関係者
- ・補助事業等の支援
- ・意識改革

+

- ・さらに多くの味方！
- ・さらに意識改革！

●6,000戸に普及させる

→機械（センサー、カメラ、制御機器等）を入れる
だけではダメ

→毎日の栽培管理を1つ1つ見直す（**行動の変化**）

→経験と勘から、**データ駆動型農業へ**（**意識の変化**）

農家さんの常識を変える！

一人の農家さんの意識と行動を変えるには！
（普及の鉄則！）



農家

よろしゅう
頼むぜよ！



購買



宮農



市町村



農家



集荷場



販売



普及

ビジネスチームからのご報告

- ・今後の広報施策・初回プレスリリース案
- ・IoP推進プロジェクトチームの取り組み状況
- ・指導員(JA・県)向けのサワチ機能の開発構想

1

サワチの初期ターゲットユーザー



通年の栽培行程の向上改善を目的に
機能と画面を利用する。

生産者

生産者の課題改善、目的支援を
行う事を目的にデータ分析を行う

県普及指導員

JA営農指導員

県職員

研究員

登場人物

2 ユーザー毎の画面機能と定義について



生産者画面定義

圃場での作業始めや、作業中及び明日の作業段取での利用等を想定し、オンラインの栽培期間中に主に利用する画面と機能の整備としている。よって、収穫終了後の分析には重点を置いていない。また、R2年度は生産者本人の圃場データの閲覧のみとし、他者比較機能はない。

サワチ画面

ログイン	現在値	お問い合わせ	集出荷
プライバシーポリシー	警報	ユーザーマニュアル	エネルギー監視
利用規約	センサー値詳細	気象予測	栽培ごよみ
パスワード変更	ユーザー設定	生産者問診	WEB手動アップロード



分析者画面定義

普及員/指導員が活用する画面機能として、サワチに接続されたユーザー比較や長期データ分析画面のテンプレート化に加え、属性データとの多角的分析環境を整備し生産者へのフィードバックアウトプット生成までを範囲とする。

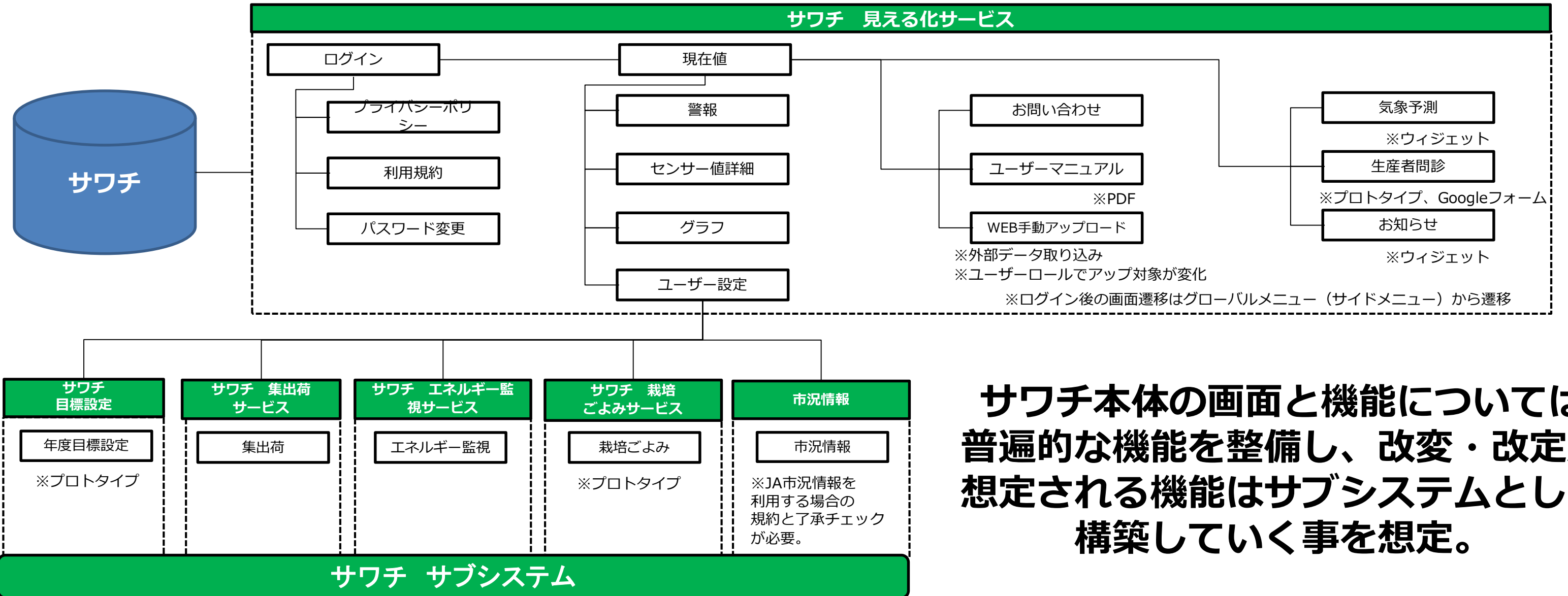
分析者画面

初期活用環境	modelmethod	今後活用県境	GIS
	BIツール		
	エクセル		
			専用Web画面

3 生産者向けシステム（サワチ）のイメージ



生産者が使う画面と機能

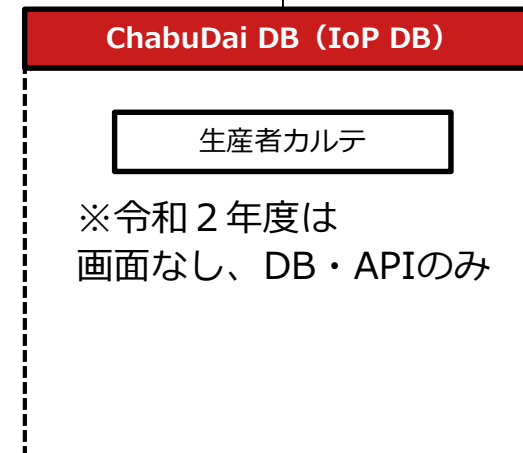
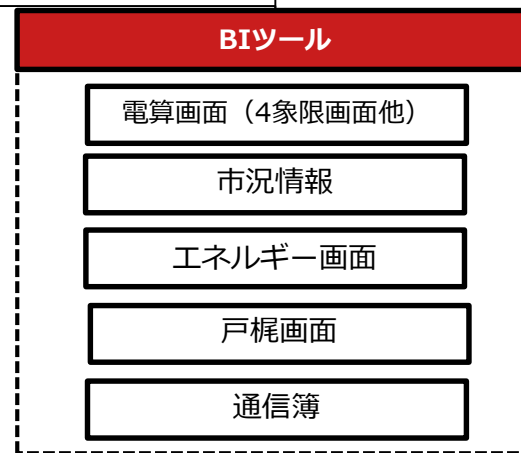
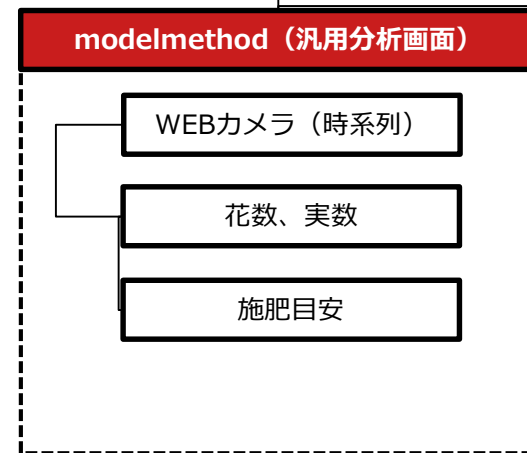


**サワチ本体の画面と機能については
普遍的な機能を整備し、改変・改定が
想定される機能はサブシステムとして
構築していく事を想定。**

4 指導員向けシステム（BI等）のイメージ



全体画面構成図



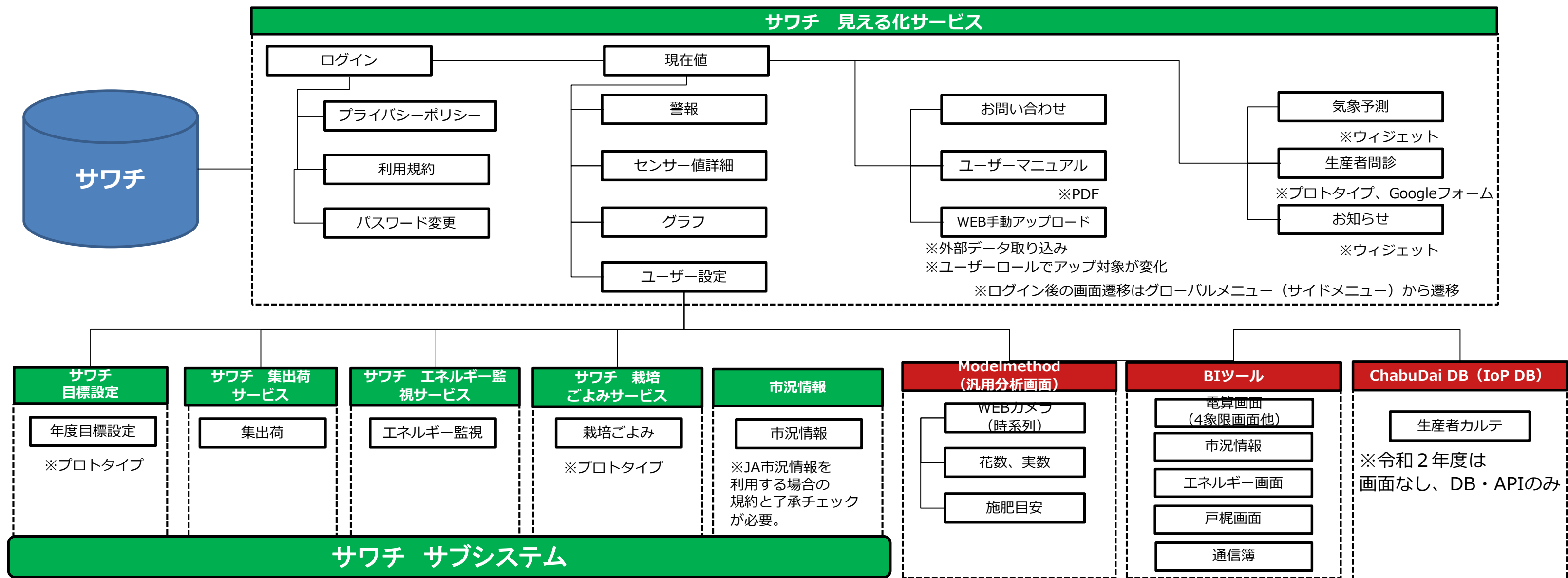
サワチに集約された様々なデータを駆使して
栽培改善に役立つデータ分析を行える
環境を整備する。

5

全体イメージ



全体画面構成図

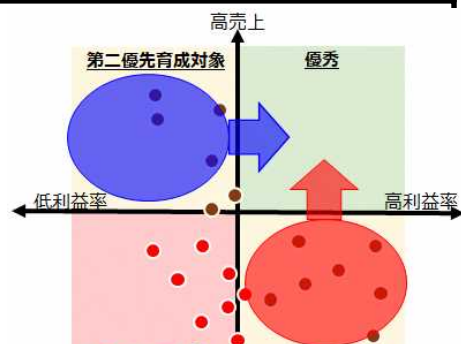


6 システム利用概念について

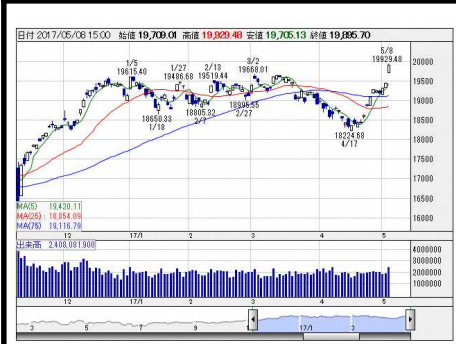


BIツール画面

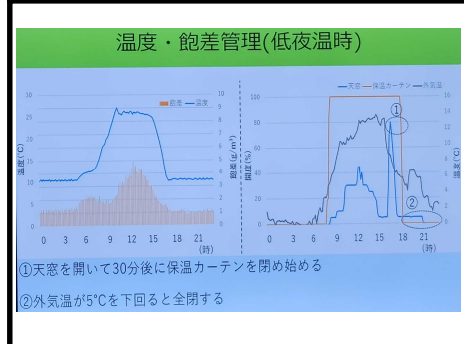
4象限分類画面



市況状況画面



戸梶さん画面

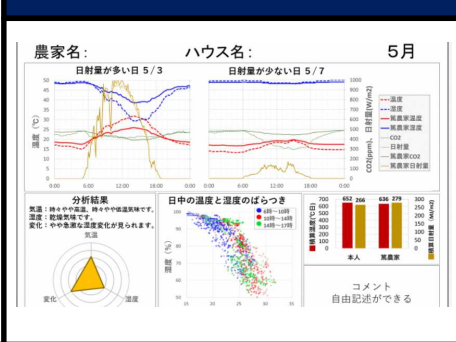


プロが構築するプリセット画面

エネルギー画面



通信簿画面



他普及員分析画面

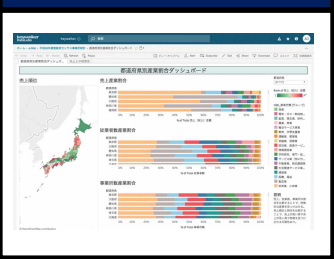


プロが構築するプリセット画面

ライブラリー



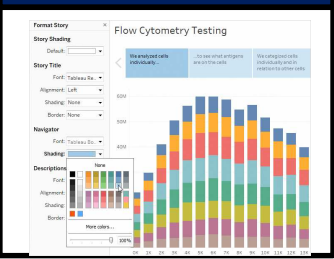
ライブラリー



ライブラリー



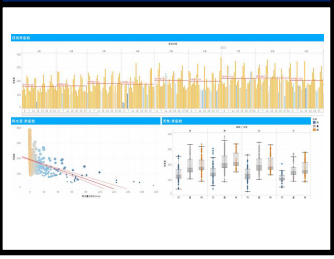
ライブラリー



ライブラリー



ライブラリー



普及員/
指導員

My分析画面



管轄普及部会毎に
改善したい見える化画面を
普及員/指導員が
プリセット画面とライブラ
リーを基にカスタマイズ
可能な環境を整備する。

指導員(県・JA)がBIツールで
簡易に作れる環境を整備していく

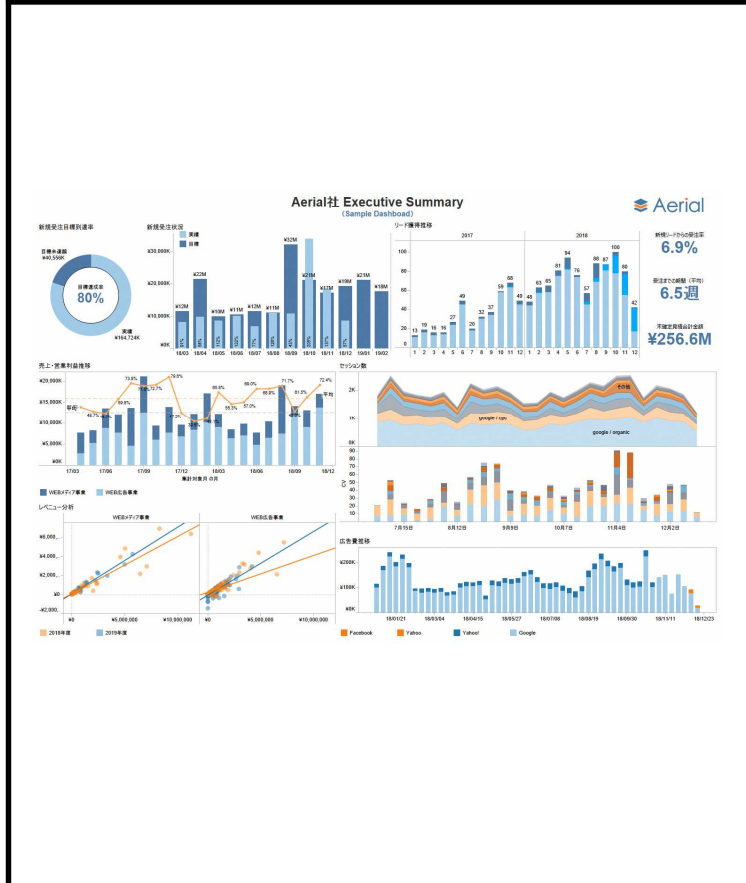
7 システム利用概念について

① 指導員が生産者とコミュニケーションをとりながら、価値のある見える化等の画面/機能を試行錯誤

② 評価されたものを他の指導員も使いやすいようライブラリー化

③ 生産者が直接活用できそうなものはサワチに導入

指導員分析画面
エクセル、BI (タブロー等)



指導員分析画面
エクセル、BI (タブロー等)

ライブラリー

ライブラリー

ライブラリー

ライブラリー

ライブラリー

ライブラリー

構築
マニュアル

The central part of the diagram shows a grid of six dashboard thumbnails, each labeled 'ライブラリー' (Library). These thumbnails represent different types of data visualizations and dashboards available in the system. To the right of the grid is an icon of an open book with the text '構築マニュアル' (Construction Manual) below it, indicating that the system is built using a manual or guide.

サワチ生産者画面
ダッシュボード

光合成スピード

集出荷サマリー

エネルギー

A品率

市況情報

病害

○トンモデル

戸梶モデル